

なかの 区議会だより

No. 206 平成19年(2007年)11月25日

編集・発行／中野区議会

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話 3228-5585 FAX 3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp
ホームページ http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/



第32回中野まつり

第3回 定例会

平成18年度決算を認定

区議会は第3回定例会で、平成18年度決算を認定しました。また、「平成19年度中野区一般会計補正予算」など区長提出10議案、「信頼できる手厚い社会保障制度の確立を求める意見書」など議員提出4議案を可決したほか、副区長の選任に同意しました。

第3回定例会は、9月20日から10月24日まで開かれました。初日から3日間、16人の議員が区政課題について、一般質問を行いました。

この定例会では、「平成18年度中野区一般会計歳入歳出

決算の認定について」など、5会計決算の認定のほか、「平成19年度中野区一般会計補正予算」、「政治倫理の確立のための中野区長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例」、「中野区事務手数料条例の一部を改正する条

例」、「中野区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例」、「特別区道路線の認定について」など、計10件の区長提出議案を審議しました。そのうち、5件を全会一致で、5件を賛成多数でそれぞれ可決しました。

また、「信頼できる手厚い社会保障制度の確立を求める意見書」など、計4件の議員提出議案を審議し、いずれも全会一致で可決しました。

請願・陳情については、3件を採択しました。

このほか、副区長に西岡誠治（にしおか せいじ）氏を選任したいとの提案があり、賛成多数で同意しました。

10月12日の本会議では、委員会での審査経過を報告した後、採決を行い、一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険特別会計の各決算を賛成多数で、用地特別会計、老人保健医療特別会計の各決算を全会一致でそれぞれ認定しました。

議案に対する討論

議案の審査にあたり、次の議員が討論を行いました。

《議案》

中野区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例

◆反対討論

有子（無所属）
（審議結果 可決）

決算審議の状況

平成18年度の一般会計、用地特別会計、国民健康保険事業特別会計、老人保健医療特別会計、介護保険特別会計の各歳入歳出決算は、9月25日に区長から提案され、42人の全議員を構成員とする決算特別委員会に付託されました。

決算特別委員会では、はじめに、15人の議員が決算全体の総括質疑を行った後、総務区民、厚生、建設、文教の5つの分科会で、分野ごとに審査を行いました。

10月12日の本会議では、委員会での審査経過を報告した後、採決を行い、一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険特別会計の各決算を賛成多数で、用地特別会計、老人保健医療特別会計の各決算を全会一致でそれぞれ認定しました。

◆賛成討論

伊藤 正信（自民）

一般会計歳入歳出決算、用地特別会計歳入歳出決算、国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算、老人保健医療特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

◆賛成討論

平山 英明（公明）

◆反対討論

長沢 和彦（共産）

一般会計歳入歳出決算、国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

◆反対討論

有子（無所属）

議会運営委員の変更

9月25日付で、藤本やすたみ議員（民主）から佐伯利昭議員（民主）に代わりました。

平成18年度各会計決算額

（対前年度伸び率）

■一般会計

歳入 958億6,658万円 (0.1%)
歳出 919億 407万円 (0.4%)

■用地特別会計

歳入 821万円 (△99.8%)
歳出 821万円 (△99.8%)

■国民健康保険事業特別会計

歳入 294億 455万円 (4.9%)
歳出 291億4,493万円 (4.3%)

■老人保健医療特別会計

歳入 229億1,247万円 (△6.0%)
歳出 227億5,277万円 (△6.5%)

■介護保険特別会計

歳入 153億1,147万円 (5.3%)
歳出 149億9,955万円 (4.0%)

区議会各会派のEメールアドレス

▶自由民主党議員団	jimin.nakanokugikai@mbg.nifty.com
▶公明党議員団	kugidan@nakano-komei.net
▶日本共産党議員団	jcp.nakanokugikai@mbg.nifty.com
▶民主クラブ	info@min-c.org

主な掲載記事

区政をただす……………	2～5面
決算を問う……………	5～8面
可決した議案・意見書……………	8面
決算に対する各会派の見解……………	9面
請願・陳情の審議結果……………	10面

第3回定例会＝一般質問

区政をただす

子どもたちが魅力を感じる

公立学校づくりを



自由民主党議員団 伊藤 正信

①公立ではなく、私立の小学校への進学が増加している。子どもたちや保護者にとって、公立学校を魅力あるものにするため、今後どう取り組むのか。②学力の定着のため、少人数指導・習熟度別指導の充実などの基本となる方針や戦略を明確にすべきではないか。③学力の基礎となるコミュニケーション能力の大部分を占めるのは、国語力である。学習意欲を育むため、小学校において漢字などの検定を導入しては。

子ども110番の推進を

新たな課題に対応した震災対策を急げ



公明党議員団 飯島 謹一

子ども110番は、子どもたちの安心に大きく貢献しているが、現在、万一の補償のための保険料を負担しているのは小学校PTA連合会だけである。区として、保険料負担を補助してはどうか。

①10月1日から一般に提供される緊急地震速報に向けた区の取り組み状況は。②最近の災害情報を踏まえ、災害発生時に最短時間で必要な都市機能を確保するための事業継続計画を策定すべきでは。

地域の豊かさにつながる活力の循環を生む政策を 持続可能な地域社会を築くためには、大きな活力の循環を生み出す政策が必要である。警察大学校等跡地の開発に伴い設置された「まちづくり協議会」には、専門家の活用と区の主体性を持った運営が必要では。

区長 各地区での指定の基準のあり方や運営方法などの状況を把握し、関係機関の連携を含め、安定した活動として一層効果が上がるような支援方法を検討していく。

区長 ①区報への掲載や、地域防災会などへの印刷物の配布により区民に周知していく。また、速やかに利用者の安全を確保する対応については検討中である。②都の状況を見ながら、区の事業継続計画を策定していきたい。

区長 中野駅周辺のまちづくりにおいて、都市再生機構をシンクタンクとして活用するほか、新たな政策形成の検討を行う。

AED設置情報の検索システムを構築せよ AED(自動体外式除細動器)の設置情報について、区の施設だけでなく、民間施設の設置分を含め、携帯電話などで素早く検索できるシステムを構築してはどうか。

区長 民間施設の設置情報の入手や、システムの開発について検討していきたい。

住民票自動交付機の設置を 地域センターの(仮称)区民活動センターへの転換に際して、住民票などの自動交付機を駅などの効果の高い場所に設置してはどうか。

区長 現在、窓口サービスの集約化と併せて検討している。地域センターや駅の近くなど、区民が利用しやすい場所に設置し、区民の利便性の向上を図りたい。

教育長 ①小中高の教員の交流による授業や関連教科にかかわる幼・小や小・中の教員合同研修などの取り組みのほか、小中の連続したカリキュラムの開発などの連携教育のあり方について検討を進めている。また、地域の人材が活躍できるようなスクールサポーター制度の導入も検討中である。②教育ビジョンにおいて方針として定めている。今年度から特に算数・数学に重点を置いて実施しており、今後、他教科への拡大を図りたい。③学校で行う教育活動

子ども110番の推進を 子どもの安心に大きく貢献しているが、現在、万一の補償のための保険料を負担しているのは小学校PTA連合会だけである。区として、保険料負担を補助してはどうか。

新たな課題に対応した震災対策を急げ 持続可能な地域社会を築くためには、大きな活力の循環を生み出す政策が必要である。警察大学校等跡地の開発に伴い設置された「まちづくり協議会」には、専門家の活用と区の主体性を持った運営が必要では。

地域センターの(仮称)区民活動センターへの転換に際して、住民票などの自動交付機を駅などの効果の高い場所に設置してはどうか。

区長 現在、窓口サービスの集約化と併せて検討している。地域センターや駅の近くなど、区民が利用しやすい場所に設置し、区民の利便性の向上を図りたい。

区長 各地区での指定の基準のあり方や運営方法などの状況を把握し、関係機関の連携を含め、安定した活動として一層効果が上がるような支援方法を検討していく。

区長 ①収容能力の限界から、希望者全員の利用は保証されていないが、機会は公平に提供している。②第九中学校跡地への移転整備を10か年計画のステップ4以降に位置付けている。次期改定期に具体的な構想を示していきたい。③地元自治体が購入するのが最善であるが、動向も見極め、早期売却に向けて協議を進めていきたい。④建物を含めた価格での売却は困難であるが、早期に未利用地が解消するよう努めていきたい。

狭あい道路の拡幅整備を

セッパバックしても、電柱がそのままだと、花壇にしている場合がある。区として、どう対応しているのか。

区長 電柱については、区道では、道路法に基づき区が企業に移設依頼を行っている。私道でも、対応の迅速化を図れるよう協議をしている。植栽整備については、当初は区の事業として行っていたが、

区長 民間施設の設置情報の入手や、システムの開発について検討していきたい。

住民票自動交付機の設置を 地域センターの(仮称)区民活動センターへの転換に際して、住民票などの自動交付機を駅などの効果の高い場所に設置してはどうか。

区長 現在、窓口サービスの集約化と併せて検討している。地域センターや駅の近くなど、区民が利用しやすい場所に設置し、区民の利便性の向上を図りたい。

区長 ①収容能力の限界から、希望者全員の利用は保証されていないが、機会は公平に提供している。②第九中学校跡地への移転整備を10か年計画のステップ4以降に位置付けている。次期改定期に具体的な構想を示していきたい。③地元自治体が購入するのが最善であるが、動向も見極め、早期売却に向けて協議を進めていきたい。④建物を含めた価格での売却は困難であるが、早期に未利用地が解消するよう努めていきたい。

(株)まちづくり中野21の

監査を問う



日本共産党議員団 長沢 和彦

まちづくり中野21に区の監査が及ばないことについて、「監査は外部の会計監査人などが適正に行い、また取締役として副区長が経営状況などを把握しており、問題ない」としてきたが、監査役3名に

区長 所有会社の監査は、会計監査人により適正に行っている。監査役に辞任を求めたのは、リース契約問題の当事者企業の役員であったからであり、より公正性・透明性を高めるためである。

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 所有会社の監査は、会計監査人により適正に行っている。監査役に辞任を求めたのは、リース契約問題の当事者企業の役員であったからであり、より公正性・透明性を高めるためである。

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 所有会社の監査は、会計監査人により適正に行っている。監査役に辞任を求めたのは、リース契約問題の当事者企業の役員であったからであり、より公正性・透明性を高めるためである。

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 所有会社の監査は、会計監査人により適正に行っている。監査役に辞任を求めたのは、リース契約問題の当事者企業の役員であったからであり、より公正性・透明性を高めるためである。

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 所有会社の監査は、会計監査人により適正に行っている。監査役に辞任を求めたのは、リース契約問題の当事者企業の役員であったからであり、より公正性・透明性を高めるためである。

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 所有会社の監査は、会計監査人により適正に行っている。監査役に辞任を求めたのは、リース契約問題の当事者企業の役員であったからであり、より公正性・透明性を高めるためである。

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 所有会社の監査は、会計監査人により適正に行っている。監査役に辞任を求めたのは、リース契約問題の当事者企業の役員であったからであり、より公正性・透明性を高めるためである。

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 所有会社の監査は、会計監査人により適正に行っている。監査役に辞任を求めたのは、リース契約問題の当事者企業の役員であったからであり、より公正性・透明性を高めるためである。

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 所有会社の監査は、会計監査人により適正に行っている。監査役に辞任を求めたのは、リース契約問題の当事者企業の役員であったからであり、より公正性・透明性を高めるためである。

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知

区長 ①年金記録は、今年5月11日に依頼があり、平成13年度分保険料領収済通知



区役所に設置されたAED



道路に残された電柱



公園でお母さんと



中野体育館

入札・契約の検討内容を問う

①他の自治体で指名・営業停止処分を受けている、または、その可能性のある事業者を排除する具体的な方法は、

②総合評価入札は、価格の外、環境、福祉、地域貢献などを落札時の決定基準とするが、区民の就労支援につながることを期待し、従業員の区内居住率を加えてはどうか。③学識経験者で構成する第三者機関の設置においては、構成員

の十分な事前調査と明確な選考理由が必要ではないか。

区長 ①業者を指名する際は、東京電子自治体共同運営システムの事業者情報を確認し、不適正業者を排除しており、今後も徹底していく。

②技術者や経験者の採用など、難しい面もあり、今後の課題としたい。③構成する場合、十分な調査の上で適任者を選任し、調査結果に応じて議会にも必要な報告を行っていく。

デジタル放送移行による情報格差を解消せよ

自由民主党議員団 佐野 れいじ



大規模電波受信障害対策施設のエリアでは、シテレビ中野の幹線は引かれていないが、チャンネルリースにより区民放送は視聴可能である。しかし、デジタル放送移行により、電波障害施設が撤去されれば、視聴できなくなる。区民間の情報格差が生じるこの問題にどう対処するのか。

区長 シテレビ中野では、未接続エリアにケーブルテレビの幹線整備を予定し



中野新橋駅

中野新橋駅のバリアフリー化を進めよ

中野新橋駅のバリアフリー化について、駅周辺の町会役員や住民の方々を中心に「要望書」を区長と東京メトロに提出している。①今年夏ごろには方向性が見えてくると聞いていたが、その後の計画の進捗がよく状況は。②計画の詳細について、近隣説明会を早急に開くよう東京メトロに強く申し入れるべきではないか。

区長 ①東京メトロからは、現在検討しており、近々に結論を出す予定と聞いてい

る。②きちんとした検討のうえ、地域の期待にこたえられるような結論を早く出すよう東京メトロに伝え、また、結果が出た際には住民説明会を開催するよう要請している。

公会計改革を推進せよ

発生主義会計に基づいた公会計改革への取り組みを進めるべきだが、①公有財産台帳整備への対応は。②財務会計システムの改修コストについての考え方は。③体系的・全庁的な研修体制は。④全庁的に取り組む組織体制は。

ジェネリック医薬品の啓発を進めよ

公明党議員団 小林 秀明



ジェネリック医薬品は、新薬と同じ成分で服用方法、効果も同じだが、特許期間終了後の発売のため低価格である。高齢者の医療費負担軽減のため、区民への情報提供や啓発を進めていくべきではないか。

区長 ジェネリック医薬品は個人の負担を軽くし、区の国保医療費削減にもなる。今後も医薬品に対する正しい知識の普及に努めていく。

高齢者に優しい「なかのん」にせよ

①中野駅と鷺宮地域を結ぶコミュニティバス「なかのん」の始発停留所は、中野サンブラザのビル風の影響で突風が吹き、高齢者は転倒の危険にさらされている。中野サンブラザ協の停留所には風除けを設置するべきでは。②区施設

区長 ①売却可能性がない財産の適正な評価とその反映について検討している。②費用対効果、使いやすさなどを見極め、最も合理的なシステムとしていきたい。③公会計士による研修の内容を充実させ、継続的に取り組んでいきたい。④区長を本部長とする公会計改革本部会議を設置している。一定の時点で、公会計士などの意見を聞く機会を設けていきたい。

区長 ①売却可能性がない財産の適正な評価とその反映について検討している。②費用対効果、使いやすさなどを見極め、最も合理的なシステムとしていきたい。③公会計士による研修の内容を充実させ、継続的に取り組んでいきたい。④区長を本部長とする公会計改革本部会議を設置している。一定の時点で、公会計士などの意見を聞く機会を設けていきたい。

うに、専用のユニフォームを支給すべきではないか。



都医師会医療救護班のベスト

後期高齢者医療制度の負担を軽減せよ

日本共産党議員団 牛崎 のり子



75歳以上の人が加入する新しい医療保険「後期高齢者医療制度」が、来年4月から実施される。①広域連合が試算した保険料は高額で、大勢の滞納者が出るのが危惧される。区独自の軽減措置を講じてはどうか。②滞納が続いても、安易に保険証を取り上げて資格証明書に変えるべきではないと考えるがどうか。③制度が高齢者に周知されていない。納付通知も制度施行と同時に、混乱を招く。このような出発は見送るよう、広域連合に求めるべきでは。

区長 ①都内が一体で運



上高田4丁目ちびっ子広場

生ごみ減量と資源化推進を

家庭からの可燃ごみに占める生ごみの割合が高い。生ごみの減量と資源化の推進について、どう取り組むのか。

区長 「なかのごみゼロプラン06」で、生ごみの減量の数値目標を定めており、同プランで掲げた4つの取り組みを着実に推進していく。

ちびっ子広場を守れ

上高田4丁目の木造都営住宅建て替えにより、貴重な樹木のある「ちびっ子広場」が失われる恐れがある。残すよう、都に働きかけるべきでは。区長 都によると、都営住宅の建て替えのため、広場の移設を考えたとのことである。樹木の保存については、これまで同様に都に働きかけていく。

災害に強いまちづくりを

自由民主党議員団 いでい 良輔



区は、水害や火災による被害からお年寄りや障害のある方などを守るために、手挙げ方式による非常災害時救援希望者登録制度を実施している。①多くの人が支援を必要としているが、登録者数が少ない原因は。②妊婦や乳幼児親子も登録できるようにすべきでは。また、これは乳幼児親子などをサポートするネットワークにつながるかと考えるがどうか。③プライバシーの問題や個人情報保護の観点から、

制度に限界を感じる。ある程度、強制的に登録するぐらいの仕組みづくりが必要では。区長 ①自分の身体状況やプライバシーを他人に知られたくない方や、近隣と交流を望まない方などが登録をしないことが原因と考える。②基本的には、養育している家族で安全を確保していただきたいが、支援が必要な親子がどの位いるのか調査していきたい。また、新しいネットワークづくりの可能性について

区有地を活用し耐震建物へ建て替え促進を

区には、災害時に倒壊する恐れのある老朽木造住宅地域が依然としてある。耐火建築物へ建て替えの誘導策として、区有施設である、まちづくり事業住宅を活用し、一時的な仮住まい住宅として利用することが有効と考えるがどうか。区長 国や都と調整が必要となるが、活用できるように、入居要件の見直しについて考えていきたい。

用途地域の見直しをせよ

山手通りの拡幅整備は、災害に強いまちをつくるだけでなく、まちの活性化を図る上でも重要な要素である。土地の高度利用という観点からも、用途地域の見直しをして、まちの活性化、防災化などに取



拡幅工事中の山手通り



江古田の森公園ビオトープ

り組むべきと考えるがどうか。
区 長 まちづくりの検討 野に入れ、考えていきたい。

「ほたるの里」実現に向け

区の姿勢を示せ



公明党議員団 南 かつひこ

区民の「ほたるの里」への思いは熱く、一日も早く中野にホタルをとの声が上がっている。①江古田の森公園のビオトープ周辺を「ほたるの広場」と名付けて「ほたるの里構想」実現への姿勢を示してはどうか。②「ほたるの里構想」実現に向けての第一歩として、ホタルの飼育施設の設置を検討してはどうか。

区 長 ①ホタルの飼育に向けて、水質などの調査を行っている。②地域で飼育や管理体制を確立していただければ、施設の設置を検討したい。

水害時の情報提供を充実し
区民の安全を確保せよ

①一昨年の水害を機に、都が設置した、野方の妙正寺川取水施設や神田川の監視カメラの映像を区に配信し、公開するよう強く要望してはどうか。②過去の被災状況をもとに、高齢者や障害者の状況

アーティストを支援し
文化の薫るまちの実現を

区では多くの若いアーティストが将来を夢見て頑張っている。こうしたアーティストたちの情熱と発想力が、文化の向上や街の活性化に大きな影響力を持つ。アーティストを支援し、区の文化・芸術のまちづくりを進めるため、区がバックアップする形で江古田の森公園などの大きな公園で区民コンサートやライブを開催してはどうか。

区 長 区民から良い企画の提案があれば、共催や支援を行っていきたい。

警大等跡地に建設する

統合新校の環境に配慮せよ



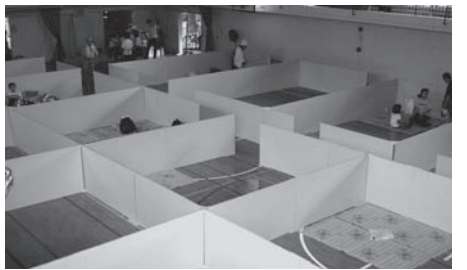
日本共産党議員団 かせ 次郎

2014年に中央中学校と第九中学校の統合新校新校舎が完成する予定だが、学校南側の土地を警察庁宿舎用地として国に押さえられた。区民からは、日照、風害、プライバシーなど教育環境の悪化が指摘されている。環境が整った学校整備のため、区は用地取得に努めるべきではないか。

区 長 中学校予定地南側の国有地の計画は未定と聞いている。処分場合は区として活用できるか検討していく。

小学校跡施設の活用は 地域の声を反映させよ

仲町・桃丘小学校は今年度をもって廃校になる。地域住民からは廃校後も地域交流の



避難所の間仕切り

検討する。桃丘小学校跡は産業・文化芸術の活動拠点として位置付けており、地域活動への便宜や防災施設の一部活用を視野に入れて考えていく。

被災地の教訓を生かせ

新潟県中越沖地震における柏崎市の避難所での住民の要望は、プライバシー保護のための衝立設置と暑さ対策だった。区内の一時避難所もこの結果を取り入れ、衝立の備蓄増と体育館へのクーラー設置をすべきではないか。

区 長 間仕切りボードは更衣や授乳、病弱者などに対応できるように適切に配置している。クーラーについては学校の教育活動との関連で必要性を見極めていきたい。

区 長 仲町小学校跡は地域住民による活用および地域の防災拠点として配置などを

子どもたちの

安全な通学方法を検討せよ



自由民主党議員団 内川 和久

学校の統合が実施されると通学距離の延伸が心配される。①路線バス通学の許可や小学1年生にはスクールバスを運行するなど、安全な通学手段を考えるべきでは。②第九中

学校と中央中学校が統合すると、新校の通学距離は、最大1.5kmにも達する。自転車通学の許可など、柔軟に対応すべきではないか。

区 長 ①通学の安全確保

については、通学方法のあり方など、関係機関と調整を図り、適切な対応を行うよう検討している。②統合新校については、中学生が徒歩で通学できる範囲と考えている。

中野駅周辺の再開発に 住民意見を取り入れよ

①昨年、ランドデザインが策定されたが、さらに具体化した駅舎中心の回遊性のあるものを描くべきでは。②「中野駅地区整備計画案作成のための調査・検討」概要書では東口・西口の必要性について触れていないがどうか。③中野駅地区の整備構想などの検討にあたり、地域住民を含めた協議体を設置すべきでは。また、その実現にはJRの負担と協力が必要である。交渉の進捗よく状況はどうか。

区 長 ①駅舎のあり方や歩行者ネットワーク整備のあり方など早期に検討を進めたい。②昨年度の検討で、駅への東西南北からのアクセスや回遊動線を確保する案を提案した。商店街などの意見・要望を踏まえ、JRを含めて検討を深めたい。③関係団体など意見交換を実施するなど、

区民の意向把握に努めたい。また今年度は、JRを含めた検討会の立ち上げを予定しており、現在調整している。

学校跡地は地域で利用を

①仲町小学校が統合されることにより、校内にある「仲町ホール」や子どもの遊び場、避難場所はどうなるのか。②桃丘小学校跡地に地域コミュニティなどを確保すべきでは。③中野駅地区の整備構想などの配置などを検討する。子どもの遊び場については、統合後の桃花小学校に仮称キッズプラザ事業を展開する。また、引き続き避難場所とする。④コミュニティ活動への便宜などを視野に入れ考えたい。

区 長 ①地域活動ができるよう、整備後の施設内の配置などを検討する。子どもの遊び場については、統合後の桃花小学校に仮称キッズプラザ事業を展開する。また、引き続き避難場所とする。④コミュニティ活動への便宜などを視野に入れ考えたい。

区 長 ①新たな施設での



登校する児童

障がい者の

地域生活支援事業の拡充を



無所属 佐藤 ひろこ

障がい者の社会参加を支援する事業の充実が必要だ。①日中一時支援の場所は、今年度中に3カ所増やす計画であるが、緊急一時保護への対応も考え、計画を遅らせること

なく実現すべきと考えるがどうか。②通所施設に毎日通えない人などのための地域活動支援センターなど、事業の拡充に向けての区長の決意は。

区 長 ①新たな施設での

実施に向け、事業者との協議や調整を進め、実現を図りたいと考えている。②今後、施設の動きや要望を踏まえ対応していく。地域活動支援センターは、出来るだけ早期に開設していきたい。

障がい児を抱える親の 心の支援を

障がい児を抱える保護者が、悩みを話せる相談場所が必要である。グループカウンセリングなどを実施できないか。

ごみ集積所で

ペットボトルの回収を



無所属 むとう 有子

中野と新宿の2区だけが、ごみ集積所でのペットボトル回収を行っていない。プラスチック資源化推進のために集積所または拠点での回収実施に向け検討すべきではないか。

区 長 破碎回収機の増設や店頭回収の拡充に努めているが、地域ではペットボトルの可燃ごみへの混入をなくすべきとの意見が多い。効果的・効率的な回収方法について、検討を行っている。

介護サービス情報公表制度の見直しを国や都に求めよ

介護サービスの情報公表は

「命の教育」を推進せよ



無所属 近藤 さえ子

人間の命の尊さ、大切さを子どもの時期に教える必要はない。この夏、愛知県の

少年院を訪れ、以前は家庭や近所の大人が命の大切さを教え、それが非行や犯罪の防止

「区議会だより」は 各戸配布しています

区議会だよりは、各戸配布により区民のみなさんのお手元にお届けしています。また、区施設や駅の広報スタンドなどでも手に入れることができます。ご利用ください。

つながっていたが、今の社会ではそれが抜け落ちており、学校などでの「命の教育」が必須であることを実感した。進んだ自治体では、自分との違いを受け入れる訓練や、いじめ予防を考えた授業を行っている。①区ではどのような命の教育を行っているのか。

②(仮)U18プラザが中高生の成長に寄り添う場所となるには、それを支える大人としての職員が不可欠だ。どのよ

路上喫煙やポイ捨て

防止への取り組み強化を

無所属 いながき じゅん子



①条例施行後も、まだまだポイ捨てが目立つ。特に路上喫煙禁止地区の境界付近での苦情が多い。どう考えるか。

②地元商店や町会だけでなく、チェーン店や金融機関などにも協力を求めるべきでは。

区長 ①ポイ捨て禁止を呼びかける掲示物や啓発を強化している。②当然、協力を求めている。

AEDの普及を図れ

①AEDを設置している事業所や個人宅と協力関係を結んでどうか。②中野まつりや学校、各地域センターでAEDの紹介や講習などを行っている。③区の常勤職員は全員が救急救命講習を受講予定だが、その他の職員の状況は。

区長 ①設置場所を把握し、協力関係を検討したい。②今後もPR方法や体制を工夫し、各学校での教え方も研究したい。③非常勤職員は対

うな職員を考えているのか。

区長 ①道徳の時間、小動物の飼育などを通じて指導しており、命の大切さを理解させる事例を参考に教材化し、学校教育の中で、指導することを検討している。②子ども達の自立につながる事業の実施や自主的な活動の支援や相談事業のため、職員の研修や民間の知識・経験を活用するなど人材活用を工夫したい。

副区長3人体制による

責任を明確に

無所属 林 まさみ



区は、事務配分の工夫や事務執行の効率化を進め、責任体制を明確にするという考えのもと、各事業部に副区長を置く、副区長3人体制とした。

①効率化や責任の明確化など、実行されているとは思えないがどうか。②区民に見える形で具体的に公表すべきでは。

区長 ①組織のフラット化、意思決定の迅速化を図られ、事務の効率化も進んでいると認識している。②行政評価などの過程で、評価される機会があると考えている。

東中野小跡地を活用せよ

区民の案をもつて地域住民と協議することだったが、案は決まったか。計画は、小規模多機能型居宅介護施設などの活用となっているが、その施策と併せ、NPO法人に委託するなど運営を工夫し、さまざまな世代が利用できる地域の顔となる整備をすべきだ。また、避難場所の機能を維持するのか。区の考えを。

区長 現在、具体的な検討を行っている。できるだけ早く整備案を示したい。

中野区議会ホームページをご利用ください

中野区議会では、いち早く区民のみならず情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどご覧いただけます。ぜひご利用ください。

中野区議会ホームページURL
<http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/>

平成18年度

決算を問う

総括質疑 決算特別委員会

決算特別委員会では、9月28日から10月3日までの4日間、15人の議員が決算全般について、質疑を行いました。質疑の項目と主な内容は次のとおりです。

1 篠 国昭 (自民)
教育問題について
2 区有施設の耐震対策について
3 少子化対策について
4 家族問題について
5 その他

久保 りか (公明)
1 安全・安心な学校運営について
2 保育園の安全管理について
3 危機管理体制について
4 地域包括支援センターの今後について
5 妊産婦保健指導のあり方について
6 療育センターアポロ園について
7 コミュニティバスなかのんについて

8 地球温暖化防止戦略について
9 西武新宿線鉄道連続立体交差事業について
10 平成18年度普通会計ベースの決算について
11 その他

岩永 しほ子 (共産)
1 2006年度決算と区政運営について
2 施設使用料について
3 図書館行政について
4 山手通り問題と地域課題について

奥田 けんじ (民主)
1 財政について
2 教育について
3 広報戦略について
4 地域のネコに関する課題について

1 山崎 芳夫 (自民)
中野まつりと無形文化財との関係について
2 18年度決算の財政分析について
3 (仮称)東中野区民活動センターについて

江口 清三郎 (公明)
1 災害対策について
2 犬との共生について
3 歩行喫煙禁止について
4 中野坂上周辺まちづくりについて
5 政治活動と選挙活動について
6 スポーツ施設の確保について

小堤 勇 (共産)
1 地域経済の担い手、中小企業・中小業者の振興施策の充実について
2 国民健康保険制度について
3 青年の暮らしと雇用への支援について
4 上鷺宮まちづくりについて
5 地域交通の充実について
6 平和資料展示室の改善・充実について
7 その他

酒井 たくや (民主)
1 学校再編について
2 東中野のまちづくりについて
3 組織と人事制度について

大内 しんご (自民)
1 小中学校の統合について
2 野方駅について
3 施設使用料の見直しについて
4 その他

1 北原 ともあき (自民)
入札について
2 生活保護について
3 西武新宿線連続立体交差化について
4 高齢者虐待について
5 その他

佐藤 ひろこ (無所属)
1 中野区政の評価と課題について
2 高齢者等への住宅施策について
3 就労支援について

むとう 有子 (無所属)
1 一人親家庭の保育料算定の見直しについて
2 産業振興について
3 保育園、小・中学校の食器の改善について
4 廃プラスチック資源化のモデル収集説明会について

近藤 さえ子 (無所属)
1 監査について
2 施策の成果について

つばい えみ (無所属)
1 自動二輪の駐車場について
2 在外選挙制度について
3 その他

林 まさみ (無所属)
1 財政健全化について
2 中野区の組織及び人員体制について
3 中野駅周辺まちづくりについて
4 その他

行財政

財政分析の指標

奥田議員

①区の財政分析において、資産状況(ストック情報)と経営成績(フロー情報)が混在しているが、峻別して分析すべきでは。②民間では、最終的な利益に対する総資産の量であるROAという指標で資産効率を把握している。これを参考に、区の現状や推移を把握しては。

答

①現在の総務省方式ではなく、正確な資産の積算に基づく財務諸表を作成するよう検討している。②指摘された指標も含めて幅広く研究し、今後の財政運営にあたって活用していきたい。

特別区民税

山崎議員

18年度の年代別、1人あたりの納税額は50代が26万円と一番多く、40代、60代と続く。今後、団塊の世代の退職による税収減が予想され、さらなる収納率向上が求められる。コンビ二収納やカード決済の仕組みを早急に整備すべきではないか。

答

カード決済は現在、情報収集しており、コンビ二収納は実施に向け検討していく。

経営本部体制

酒井議員

平成19年度に経営本部体制を導入し、トップマネジメント体制および事業部制の強化を図るとしているが、具体的なねらいは何か。

答 経営本部の調整機能を強化し、事業部制における縦割りの弊害解消、部を横断する案件への取り組みを進め、10か年計画の推進を目指す。

契約制度

北原議員

区では契約制度の見直しを検討されているが、①総合評価方式とどのようなものか。②評価項目には何があるのか。また、区内事業者の地域性などの項目がなければ、加えるべきではないか。

答

①従来の落札価格重視から価格以外の評価要素を考慮し、工事品質を重視するものである。②業者の経営状況、社会貢献などを評価項目と考えており、地域性などの項目については、検討中である。

財務監査

近藤議員

①財務監査の指摘は、目まぐるしい制度改革で、職員が業務をこなし切れていない表れである。2千人体制に向け、しっかりとした条件、基盤整備を行うべきではないか。②外部評価の中で「約1千億円を扱うにもかかわらず、公認会計士の関与がない」との指摘がある。外部監査を行うべきではないか。

答

①人材育成の戦略の中で、適正な事務処理を行う職員の育成を図りたい。②外部監査人の高度な専門性を活用できる事例があれば、法で定める手続を経て実施したい。

財政健全化

林議員

区は事業の委託化を進め、職員を2千人に減らすことで人件費を抑制すると

しているが、行政評価では「ずっと住み続けたいと思う区民の割合」が05年度の32%から06年度には28%に減った。区民満足向上のため、ただ民間に委託するのではなく、委託内容をチェックできる質の高い職員を確保する必要があるのではないかな。

答

専門的な知識・経験を持つ人材を仕事に生かす経験者の採用や、人材育成計画に基づく専門性の育成により、人材を確保していく。

危機管理・防災

避難所運営

江口議員

災害時の避難所は、帰宅困難者の対応など、多くの混乱が予想されるが、初動態勢は、地域防災会を中心とした自主運営となり、住民の負担が重い。日ごろから訓練を行っている消防団に避難所運営に加わってもらえるよう検討してはどうか。

答

災害時、消防団は、消防署の指揮命令下に入るため、避難所の運営体制に組み込むことは難しい。しかし、避難所開設訓練などへの協力については、防災会、消防署、消防団と協議していきたい。

動物の避難対策

江口議員

狂犬病の予防接種を行うなど、飼い主に対する啓発を行い、ペットも避難所に避難できる体制づくりを

繰り返し求めてきたが、ペットの避難対策について、どのように検討しているのか。

答

動物の適正な飼育について、飼い主への啓発に努めている。ペットの同行避難については、一定のルールづくりが必要のため、引き続き、区の獣医師会と協議していく。

産業振興

商店街のにぎわい創出

小堤議員

①商店街の空き店舗を利用した補助制度の見直しなど、空き店舗対策を充実するべきでは。②著名な新井薬師をブランドとした取り組みを、区商連や地元商店街と推進するべきでは。③にぎわい創出には、中小企業振興策の充実が必要である。中小企業振興基本条例が必要では。

答

①やる気のある人が空き店舗で事業展開できるように工夫を検討していきたい。②何がヒットするか、アンテナを張り巡らし、中野ブランドを検討していきたい。③産業振興を骨太に展開していく必要性は認識するが、初めに条例ありきとの考えではない。

環境・清掃

地球環境改善基金

久保議員

区はISO14001認証を取得したが、省

エネルギーを呼びかけるだけではなく、光熱水費のコスト削減分の一部を地球環境改善基金として積み立て、自然エネルギー導入や緑化推進など環境改善に生かしていくことを検討してはどうか。

答

地球温暖化防止対策の取り組みを計画的、効果的に進めるためには、財源確保も重要な課題であり、基金の創設を検討したい。

環境軸推進地区

久保議員

都の環境軸ガイドラインの中で、山手通りが、快適なみどりの幹線道路のモデルとして紹介され、道路のみどりと公園のみどりの一体的整備が期待されている。中野駅周辺や警察大学校等跡地を環境軸推進地区とし、まちづくり交付金を活用したみどりの創出を推進するべきでは。

答

中野駅周辺まちづくりガイドラインでは、都の環境軸ガイドラインに即して、中野のまち全体のみどりのネットワークの核となる緑化推進を示している。

路上喫煙禁止地区

江口議員

区は、17年4月から中野駅周辺を路上喫煙禁止地区に指定した。路上喫煙は減少傾向ではあるが、徹底されているとは言えない。喫煙問題の解決のため、区内すべての駅の周辺を路上喫煙禁止地区に指定してはどうか。

答

区民などの行動を規制するため、指定区域は、必要最小限の地域にすべきと考えているが、区民の意見なども

子ども・家庭

踏まえて検討していきたい。

区立保育園

篠議員

区立保育園では、一人の0歳児を保育するのに、月額42万円かかる。経費を節減し、家庭的な雰囲気の中で、子どもを育てる江戸川区のような取り組みをしてはどうか。

答

江戸川区では、約218人の家庭福祉員が400人を超える子どもを預かっているが、中野区では環境的に整備できない状況にある。集団保育の場でも、家庭的な雰囲気の中で、子どもたちが育っていくことを追求していきたい。

ひとり親家庭の保育料算定

むとう議員

区では、ひとり親家庭で父母が非課税の場合、祖父母と同居すると、別世帯であっても、祖父母の課税額で保育料を算定している。しかし、このような場合、杉並区、渋谷区、新宿区、練馬区では保育料は無料となる。

答

区では保育料は無料となる。ひとり親家庭の自立を支援するため、各家庭の事情を踏まえて算定するよう、算定方法を見直すべきと思うがどうか。

答

保育料は、各区ともに

保健・福祉

療育センターアポロ園

久保議員

給湯・冷暖房設備が老朽化し、特に、温度に敏感な児童は適応が難しい。園庭の遊具も、改善が求められている。また、送迎バスは、車いす対応でないため、多大な労力と時間を要している。改善を図るべきでは。

答

給湯設備は今年度中に改善予定で、冷暖房設備と園庭遊具は、耐震改修工事と同時に行うよう検討する。送迎バスは、チャイルドシート対応も含め、リフト付きバスなどの増設を検討している。

区民の暮らしを支える施策

岩永委員

①18年度、19年度に区が講じた介護保険の保険料・利用料の激変緩和策と負担限度額減額を、来年度も継続するべきと思うがどうか。②母子家庭への経済的支援、住宅支援として、住宅家賃補助や転宅資金の援助などを実施するべきではないか。

答

①介護保険は、基本的な部分は全国統一な考えで運営されており、激変緩和措置もその一部である。国の基準にのっとり、2年間の実施で経過措置は終了と考えている。②現在、家賃補助は考

えていないが、居住安定事業の充実を図る中で対応していきたい。

区民健診

岩永委員

20年度から、国保加入者は40〜74歳までを対象に特定健診を受けることになる。区は、特定健診の必須4項目以外の心電図、胸部レントゲン、眼底検査など、従来の身体状況全体をチェックできるような健診を実施し、区民健診を充実させるべきではないか。

答

保険者の実施義務である特定健診を見ながら、区が実施する健診項目を考えていきたい。

国民健康保険料

山崎議員

18年度、税金をまじめに払った人のお金で、保険料を払わない人のために15億円も使われた。滞納は、払えるのに払わないという意識の問題である。収納率向上のためには意識改革が基本であるが、税金、保険料ともに払わない人を名寄せして滞納整理をすれば、収納率が向上するのではないかな。

答

現在、税、国保ともに滞納している案件について、重点的に取り組んでおり、収納率向上に努力していく。

就労支援プログラム

北原議員

生活保護受給者の中で稼働年齢層への対応は、重要な政策課題と考える。①就労支援プログラムの取り組み状況とその効果は。②稼働年齢層へはどう対応するのか。



答 ①18年度から就労支援員1人を配置し、ハローワーク新宿と連携を図るなど、就労支援、処遇向上に努めている。また、18年度、就労支援プログラムに結びつけたケースは79世帯、うち就労による自立、生活保護廃止までは73世帯である。②同プログラムの中でハローワーク連携、就労指導の推進、就労意欲形成の3つのメニューを設け、対象者にあわせ、支援している。

西武新宿線立体交差事業

久保議員 都は国に対し、

中井駅・野方駅区間の新規着工準備採択を要望したが、区でも、連続立体交差事業化に向け、専門チームを組織するなど準備を進めてはどうか。

また、残りの野方駅・井荻駅区間についても、引き続き取り組みを続けるべきでは。

高齢者虐待

北原議員

高齢者虐待を早期に発見するため、見守りネットワークなど虐待が深刻化する前に支援の手をさしのべる仕組みが必要ではないか。

答 医療、警察などの関係機関と高齢者虐待対応連絡会を設置した。今後、地域の団体などと連携し、地域の支え合いネットワークを築いていけるよう取り組みたい。

都市整備

西武新宿線立体交差事業

篠議員 西武新宿線の立体交差事業は、区を挙げて運動した成果もあり、東京都が鉄道立体化を検討していた20区間のうち、国に要望する二つの中に選ばれたということだが、この内容の概要は。

答 都議会第3回定例会で、

京王線の代田橋駅・八幡山駅間と西武新宿線の中井駅・野方駅間の2区間の新規着工準備採択を国に要望した。都は、今年度、事業化に向けた構造形式の検討などに着手する。

物などで道路を横断する区民が多いが、歩道橋が設置されているだけである。歩道橋は、非常に不便であるほか、バリアフリーの観点からの問題もある。改札口開設を機に、歩道橋を撤去し、横断歩道と信号機を設置してはどうか。

答 歩道橋は、バリアフリーの観点での問題があるが、子どもの安全面において、優れている点もある。関係機関や地元の見解を踏まえ、撤去も含めて協議していきたい。

上鷲宮まちづくり計画

小堤議員

地区整備計画の素案で問題になっているのは、住民との合意がないのに、あるものとして進めてきたこと、また、道路拡幅による地域環境の悪化と土地の無償提供である。この点の不安を解消して話し合いを進めるべきでは。

答 検討の進め方や周知の方法などで拙速なところがあった。地域住民や地権者などから、上鷲宮のまちの将来像について改めて意見を聞きながら、地域と区が一緒になって話し合いを進めていきたい。

地域交通の充実

小堤議員

①交通不便地域解消には、都市整備部だけでなく、子ども家庭部や保健福祉部などを含めた検討組織で取り組むべきでは。②「なかのん」への運行助成はあと1年となったが、運行廃止とならないよう、新たな補助も含め助成を継続するべきでは。

答 ①関連分野の実務者を中心にPTを立ち上げており、今後本格的に検討を進めることを考えている。②現段階では、運行助成の延長は考えていない。収支改善のため、サービス充実やPRなど協力を行っていききたい。

東中野のまちづくり

酒井議員

東中野駅の西口広場整備を契機に、商店街の活性化や駅の東西南北の格差解消を図り、中野の玄関口である東中野のまち全体が活性化するようにまちづくりを進めるべきではないか。

野方駅整備と第三セクター

大内議員

ようやく野方駅整備が具体的に動き出した。そのなかで、第三セクターをつくるということで、補正予算も組んだ。第三セクターをつくる理由と、区、西武鉄道、第三セクターの役割は。

幾ら位か。②この事業は21年度開設予定が半年も遅れている。これ以上遅れさせないでほしいが、今後の予定は。

答 ①区が行う自由通路と広場部分は約8億円、第三セクターが行う駅舎部分は約9億円と見込んでいます。②最大限早く実現をしていきたい。

西武新宿線連続立体交差化

北原議員

連続立体交差化事業について、今年度中に中井駅・野方駅間の構造形式の検討などに着手するとした都の答弁は重い。今後、さらに具体的なまちづくり計画が求められるが、区はどのような手法で進めるのか。

答 まちづくり構想をさらに具体的な計画として、基本計画などに地域の意見を反映させながら、段階的に策定する中で、まちづくり計画を進めていきたい。

自動二輪の駐車場

つばい議員

中野区の自動二輪の駐車場は、4カ所しかない。一方で利用率の低い自転車駐車場があるが、ここに自動二輪を置く場所を確保できないか。駐車場が少なく、路上駐車が増え、通行や緊急車両の妨げとなる。早急に対応すべきと考えるがどうか。

答 自動二輪は、四輪車と同様に民間の駐車場の利用が本来のあり方と考える。区として現在の駐車場以外に整備する考えはないが、民間事業者による駐車場整備には区の補助制度があり、制度の周知などで支援していきたい。

野方駅整備の費用

大内議員

①野方駅全体の整備の費用は土地代を除くと

教育

学校再編計画

篠議員

学校再編計画は、平成20年度に改定し、中・後期にかかる統合の時期や統合新校を定める。また、その時点の児童・生徒の推移などの人口動態や、通学区域の見直し、裏付けとなる財源なども加味しながら、区民議論の場を設けるといことだが、どのように設定するのか。

答 計画の策定には、児童・生徒数の推移や通学区域の見直し、さらに裏付けとなる財源なども加味して検討し、事前に区民に案を示して意見を聞き、進めていきたい。

地域図書館

篠議員

鷲宮図書館は、耐震補強工事のため、6カ月間一部事業を休止する。地域図書館の機能が欠落する時期は、学校図書館との連携を強化する機会になると思うがどうか。

答 区立図書館は、業務の一部を委託している。各館の受託者は、区職員指示のもと管内の学校などを巡回するなど連携強化に取り組んでいる。今後も引き続き子ども読書活動の推進に取り組んでいく。

学校施設耐震化

久保議員

耐震性能の判断は、建物だけでなく地盤の状況や基礎構造なども含め、総合的に行う必要がある。調査結果により、基礎の取り替え

が必要な場合は、改修ではなく、改築を検討すべきでは。

答 耐震改修工事は、建物と併せて、地盤、基礎も調査検討し、必要に応じて補強する。全面的に取り替える場合は、改築も考える。

図書館の充実

岩永委員

①図書館の利用者や登録者を増やすためには、魅力がある、役に立つなどのサービスが欠かせない。図書費の増額と視聴覚資料の購入を再開するべきではないか。

②文部科学省が示す図書標準に達していない学校図書館が残っている。蔵書の充実、施設設備の整備が求められるが、区の考えは。

答 ①視聴覚資料の購入については、メディアの提供方法、利用形態の変化など、さまざまな角度から検討していきたい。②基準達成を目指し、蔵書の充実を図っている。学校ごとの計画を策定し、努力していく。

学校再編

酒井議員

中野昭和小との統合により、東中野小の児童は、幹線道路を二本横断して通学しなければなくなる。大人に比べ視野が水平・垂直とも約60度狭いとされる児童の通学路の安全対策には、低学年の視点に立った配慮が必要ではないか。また、魅力的な統合新校とするための取り組みは、どうするのか。

答 通学路の安全確保については、さまざまな条件を考慮し、関係機関との調整を図

りながら検討する。魅力的な学校づくりにについても学校統合委員会が協議していく。

統合新校と伝統の保存

大内議員

来年4月に最初の統合新校、緑野中学校と桃花小学校が開校する。新しい学校に、統合される各学校の伝統や歴史を象徴する品を残すべきだと思うがどうか。

答 統合対象の学校の歴史、伝統を大切にすることは、非常に重要なことである。統合する各学校や同窓会の記念の品などは、教育活動に支障のない範囲で新校の校舎内に保存していきたい。スペースの関係で、デジタル化して保存することも考えている。

文化・芸術

江古田の獅子舞

山崎議員

江古田の獅子舞は区の無形文化財に指定されており、区は文化財保護条例にて「文化財の保存と活用に努める」としているが、江古田の獅子舞の実施日である10月第1日曜日には中野まつりも開催されている。両方に参加したい区民も多い。改善をすべきではないか。

答 日程の重複については中野まつりの実行委員も認識しており、来年度は第2土曜日に開催することになった。江古田の獅子舞は70年以上の歴史を持つ祭りであり、区としても地域の伝統文化につ

いて周知していきたい。

伝統文化の継承

山崎議員

区は、伝統文化の継承について、補助金による支援だけでなく制度として支援することだが、どのように考えているか。

答

伝統文化の継承を通じてさまざまな取り組みを目にし、参加することにより、区民の共同意識の向上や、中野への愛着など、区民活動やまちの活性化につながると期待している。20年度の策定を目途に具体策の検討を進める。

区政一般

SEO対策

奥田議員

インターネットで情報を調べる際に、検索エンジンを利用する人が増えている。区の情報にたどり着きやすくするためのSEO対策について、区のホームページではどう考えているか。

答

ホームページ作成の際に、検索のキーワードを想定し、検索した際にヒットしやすい形に改善していきたい。

地域の猫対策

奥田議員

①猫に関する苦情が増えているが、苦情の内容や地域の傾向による分析は行っているか。②区の政策としての具体的な位置付けは。

答

①現在把握していないが、問題解決のために必要なデータの把握や分析につい

て今後検討したい。②現在、

ペットとの共生を考える懇談会で議論しており、その結果を踏まえて来年1、2月頃に区としての方針を出したい。

政治活動と選挙活動

江口議員

公職選挙法は、もともと区民に分かりにくい法律と言われる。公平な選挙を行ううえで、選挙前に不特定多数の人の前で、自分の名前の入ったたすきをかけて活動することについて、どのように考えているのか。

答

警察が判断することであるが、本来、たすきがけをしている活動は、告示後に行う選挙活動にあたるため、事前運動と判断される可能性が高いのではないかと考えている。

青年の就労支援

小堤議員

①就労を希望する若者が多くいるネットカフェの実態を調査した。区就労・求人支援サイト「ぐっJOBなかの」をネットカフェでPRすることが就労の具体化に効果的と思うがどうか。

答

①ネットカフェにも可能な範囲で協力を要請していきたい。②就労相談窓口のあり方は課題であり、関係機関との連携も含め検討したい。

施設使用料見直しの課題

大内議員

①区が考えている施設使用料見直しの中で一番重要な課題は、減額免除制度の見直しだが、大変分

にくい。どのように考えているのか。②助成の審査は、どこで行うのか。指定管理者が管理する施設の場合はどうか。

①今までは団体の性格によって減額・免除していたが、今後は公益的な活動について助成するという視点で制度を組み立てたい。②指定管理者施設であるかを否かを問わず、団体の活動を所掌する分野での審査を考えている。

中野区政の評価と課題

佐藤議員

区は、日経新聞の自治体ランキングで、昨年度、行政革新度で全国14位、行政サービス度で38位、子育て環境では10位へと上がったが、中野区の行政評価では、区民の意見や要望などが区政に反映していないとの割合が多い。役所の都合ではなく、区が区民の立場に立つて物事を進める姿勢が求められているのではないか。

答

上位にランキングされれば良いのではない。職員が区民起点の価値観、ものの見方で、情熱を持って仕事に取り組むことが大事である。

第3回定例会

可決した議案

区長提出議案

●平成19年度中野区一般会計補正予算(第2次)

歳入歳出にそれぞれ29億4047万4千円を追加計上し、予算の合計額は、1015億2247万4千円となりまし

●政治倫理の確立のための中野区長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例

証券取引法の改正、郵便貯金法の廃止などに伴い、規定を整備します。

●中野区事務手数料条例の一部を改正する条例

温泉法の改正に伴い、温泉の利用の許可を受けた地位の承継の承認申請手数料を新設するとともに、条例で引用している条文の番号を整備します。

●中野区印鑑条例の一部を改正する条例

印鑑登録証明書の交付の申

○中野区議会定例会(一般質問)をテレビ放送しています。

中野区議会では、JCN中野(シティテレビ中野)で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。ぜひご覧ください。

【問合せ】区議会事務局

(電話3228―5585)



第3回定例会

可決した意見書(要旨)

割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

国会及び政府に対し、割賦販売法改正に当たっては次の事項を実現するよう強く要請する。

- 1 過剰与信規制の具体化
- クレジット会社は、顧客の支払能力を超えるクレジット契約を提供しないように、具体的な与信基準を伴う実効性のある規制を行うこと。
- 2 不適正与信防止義務と既払金返還責任
- クレジット会社には、悪質販売行為等にクレジット契約を提供しないように、加盟店を調査する義務だけでなく、販売契約が無効・取消・解除であるときは、既払金の返還義務を含むクレジット会社の民事共同責任を規定すること。
- 3 割賦払い要件と政令指定商品制の廃止
- 1、2回払いのクレジット契約を適用対象に含め、政令指定商品制を廃止することにより、原則としてすべてのクレジット契約を適用対象とすること。
- 4 登録制の導入
- 個品方式のクレジット事業者(契約書型クレジット)について、登録制を設け、契約書面交付義務及びクーリング・オフ制度を規定すること。

●意見書(3件・次項に掲載)
●議員の派遣について
第18回東京都道路整備事業推進大会に議員を派遣します。

議員提出議案

●中野区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員から引き続いて副区長に選任された者にかかる退職手当の特例を規定します。

原爆症認定の在り方の見直しと被爆者の早期救済に関する意見書

厚生労働省は、平成13年5月に原爆症を認定する「審査の方針」を定めたが、被爆者の状況から被曝放射線量を推定し、原因確率及び閾(しきい)値を目安として、原爆放射線起因性に係る「高度の蓋然性」の有無を判断し、さらに現に医療を要する状態にある者のみを「原爆症」と認定している。

この「審査の方針」による認定は、各地における原爆症認定訴訟において、機械的であると批判されている。厚生労働省では、9月28日に「原爆症認定の在り方に関する検討会」を発足させ、科学的知見に照らして検討し、その結果に応じて見直しを行うため、所要の検討を行うこととした。

しかし、被爆者の平均年齢は74・59歳と、救済には一刻の猶予も許されない状況にある。

よって、中野区議会は、国会及び政府に対し、司法判断等を踏まえ早期に原爆症認定の在り方を見直し、被爆者の救済について早急に適切な対応を図るよう強く要請する。

●衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣あて

信頼できる手厚い社会保障制度の確立を求める意見書

国民の立場に立った、信頼できる手厚い社会保障制度の確立に向けて、次の事項を強く求めます。

- 1 平成20年4月に導入を予定している後期高齢者医療制度については、高齢者が置かれている状況に配慮し、きめ細かな措置を講ずること。また、国庫負担の引き上げにより自治体への新たな財政負担を抑えること。
- 2 障害者自立支援法の見直しについては、障害者の置かれている社会的立場を考慮し、抜本的な見直しに向けて、制度全体にわたる議論を十分行うこと。
- 3 児童手当については、現行の対象年齢の小学校修了前までを、中学校修了前までとし、所得制限の緩和を検討すること。
- 4 児童扶養手当の見直しについては、より一層の母子家庭への就業支援を行い、母子家庭の切実な声を真摯に受け止め、凍結すること。
- 5 年金制度改革については、無年金者や低年金者が生じないよう、納付方法の多様ななど国民年金の保険料未納、未加入対策に取り組むこと。また長期的な視野に立つて、年金が安定的に支払われるよう制度設計に向けた国民的議論を十分行うこと。

●内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣あて

平成18年度 決算に対する 各会派の見解

強固な財政基盤の確立を

■自由民主党議員団■

平成18年度は、歳出面では公債費や事務事業の執行方法を見直して経費の抑制に努めたことや未収金対策の強化に力を入れ、歳入の確保に努力されたことは、評価致します。

平成18年度は、「新しい中野をつくる10か年計画」の中でも、20年度までの3か年の「安定化期間」の初年度でありました。人件費などの経費の抑制を図り、未収金対策の強化に取り組み歳入の確保を図る一方、中長期的な財政見通しのも

とに各種基金への計画的な積み立てを行い、持続可能な財政運営への取り組みを更に進めたことは、高く評価するものです。

区は、経済情勢や国の動向を注視しながら、今後老朽化した区の施設の大規模な改修、改築や中野駅周辺整備をはじめとするまちづくりや、「新しい中野をつくる10か年計画」を着実に進めていくためにも財政健全化を加速し、強固な財政基盤を確立していくことが重要と考えております。

増税から区民生活を守れ

■日本共産党議員団■

06年度は、年金課税の強化や定率減税の半減と、介護保険制度の改定や障害者自立支援法制定による国の増税と負担増路線が区民生活を直撃しました。

区の仕事としては、国の責任を問うとともに、区独自にでも重い経済的負担の軽減策をはじめとした区民のための施策・事業を行うことが必要でした。

しかし、区は予算計上をしながら34億円も使わずに、昨年と同水準の多額の剰余金を出した上、区政史上最

高の1005億円を基金に積み増しして、年度末には280億円にもなりました。

しかも、警察大学校等跡地や中野駅周辺まちづくりなど、膨大な経費のかかる大規模開発事業は最優先にすすめられていることは認められません。

国保会計については、年々保険料が上がり続けていることに加えて、この年度は増税に連動して保険料が跳ね上がりました。徴収強化だけでは問題解決になりません。

区民満足度向上に全力を！

■公明党議員団■

平成18年度一般会計決算は、歳入総額958億円余、一般財源の伸びにより財政の改善がみられるとしていますが、特別区税や所得譲与税は23区平均に比べ伸び率は低く、産業振興や住宅まちづくりが必要です。

歳出総額は919億円余、執行率は96・4%と全体としては適正な範囲に見えますが、野方駅舎整備をはじめ、未執行事業等は、区民サービスの遅れに繋がる懸念があります。一方、我が会派が提案した、青色灯防

犯パトロールカーや校内緊急通報システム等、子どもや地域の安全を守る事業、保育サービスの一層の充実、新たな高齢者施設の整備、防災拠点となる江古田の森公園の整備等、福祉、環境、まちづくりの効果的な事業が前進しました。区民サービスの向上を図りながら、将来の行政需要に備え、基金の積み立ても計画的に行われたことは、評価します。

尚、会計処理については、法令規則に基づき適切に行われることを求めます。

区民にわかりやすい区政を

■民主クラブ■

平成18年度決算は、公債費の抑制、財政調整交付金と特別区税の増加により、収支は前年度に引き続き改善されました。しかし経常収支比率は依然として23区平均を上回っており、また人件費比率、義務的経費比率もそれぞれ高い状態であり、より一層の歳出構造の見直しが求められます。

厳しい財政状況の中、病後児保育、休日・年末保育の拡充、私立幼稚園保護者補助金の増額などの子育て支援、また、学校への防犯

カメラ及び正門施錠システムの導入、青色灯防犯パトロールカーの運行などの防犯対策は評価しますが、より実効性のある施策の展開に取組まれるよう求めます。

18年度は「新しい中野をつくる10か年計画」が実質的に動き出した年度です。

わかりやすい区政運営を目指し、議会と協働連携し、説明責任をしっかりとし、

区長はじめ職員一丸となつて計画の着実な推進に取組み、区民福祉の向上に努められることを強く望みます。

意見の分かれた案件（第3回定例会）

【○：賛成 ×：反対 ―：退席】

件名	自民 (13)	公明 (9)	共産 (8)	民主 ク(5)	無所属 (6)	結果
同 意						
中野区副区長選任の同意について	○	○	×	×	○×―	同 意
区長提出議案						
平成19年度中野区一般会計補正予算（第2次）	○	○	×	○	○×	可 決
中野区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○×	可 決
特別区道路線の認定について（中野区中野四丁目2番）	○	○	×	○	○×	可 決
特別区道路線の認定について（中野区中野四丁目2番）	○	○	×	○	○×	可 決
中野区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○×	可 決
決 算						
平成18年度中野区一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○―	○×	認 定
平成18年度中野区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○×	認 定
平成18年度中野区介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○×	認 定

※議員数は議長を除く。
無所属議員については、会派と同様の扱いで掲載しています。
会派等の略称 〔自 民：自由民主党議員団、公 明：公明党議員団、共 産：日本共産党議員団〕
〔民主ク：民主クラブ、無所属：無所属議員〕



区議会を・

傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。傍聴希望の方は、会議の当日、区議会事務局（区役所議会棟3階）で傍聴の手続きをしてください。受け付けは会議開会の1時間前から、入場は30分前からになります。本会議は

定員100人、委員会は定員15人です。
なお、携帯電話の持ち込みは禁止となっています。お持ちの方は、事務局で預かります。

〔問合せ〕区議会事務局

電話3228―8870

請願・陳情の 審議結果

契約を利用した悪質商法被害・過剰与信被害を防止するため、割賦販売法を以下のとおり抜本的に改正するよう求める意見書を提出することを採択していただくよう請願致します。

1. (過剰与信規制の具体化)

クレジット会社が、顧客の支払能力を超えるクレジット契約を提供しないように、具体的な与信基準を伴う実効性ある規制を行うこと。

2. (不適正与信防止義務と既払金返還責任)

クレジット会社には、悪質販売行為等にクレジット契約を提供しないように、加盟店を調査する義務だけでなく、販売契約が無効・取消・解除となるときは、既払金の返還義務を含むクレジット会社の民事共同責任を規定すること。

採 択

(19)第4号請願 割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求めることについて

中野区議会が、国会及び経済産業省に対し、クレジット

指定商品制を廃止することにより、原則としてすべてのクレジット契約を適用対象とすること。

4. (登録制の導入)

個品方式のクレジット事業者(契約書型クレジット)について、登録制を設け、契約書面交付義務及びクーリング・オフ制度を規定すること。〈意見書提出―みなす採択〉

(19)第15号陳情 悪質商法を

助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することについて

中野区議会が、国会及び経済産業省に対し、クレジット契約を利用した悪質商法被害・過剰与信被害を防止するため、割賦販売法を以下のとおり抜本的に改正するよう求める意見書を提出することを採択していただくよう陳情致します。

議

▼交通対策・中野駅周辺まちづくり特別委員会

7/18 調査事項の経過並びに現状2件を聴取、報告4件を聴取

9/10 報告3件を聴取

9/11 報告5件を聴取、

環境七号線地下調節池妙正寺川取水施設および江古田の森公園の防災設備を視察

▼環境対策特別委員会

8/10 報告3件を聴取

8/30 地球温暖化問題についての学習会を開催

閉会中の委員会の動き

平成19年7月～9月

▼総務委員会

7/13 報告20件を聴取

8/2 報告9件を聴取

9/7 報告14件を聴取

▼区民委員会

8/9 報告3件を聴取

9/10 報告2件を聴取

▼厚生委員会

8/2 報告9件を聴取

9/12 報告6件を聴取、

旧東ノランド跡地などを視察

▼建設委員会

9/3 請願1件を審査、

報告10件を聴取、鷺ノ宮駅

南口などを視察

9/10 報告4件を聴取

▼文教委員会

8/10 報告10件を聴取

9/10 報告5件を聴取

▼議会運営委員会

9/6 第3回定例会の日

程などを協議

9/13 第3回定例会の招集日の確認や日程などを協

継続審査

《総務委員会付託》

(19)第9号陳情 中野サンブラザについて

《厚生委員会付託》

(19)第14号陳情 飼い主のない猫の不妊・去勢手術代の助成について

(19)第16号陳情 東中野地域における子供のための遊び場を確保することについて

(19)第18号陳情 住宅地上空における鳩の群翔の禁止及び防疫措置の実施について

《建設委員会付託》

(19)第3号請願 西武新宿線駅と踏切の改善に関する請願

(19)第22号陳情 中野4丁目地区地区計画の区立新中学校校庭と警察庁宿舍予定地について

取 下 げ

(19)第11号陳情 警察大学校等跡地や旧囲町公園の既存樹木を活かすことについて

ご 利 用 く だ さ い

●本会議録画ビデオ

本会議を傍聴できない方のために、本会議の様子を録画したビデオテープの貸し出し

●声の区議会だより

目の不自由な方のために、区議会だよりを朗読録音したカセットテープ「声の区議会だより」を発行しています。

河川大会に参加

第45回東京河川改修促進連盟の総会および促進大会が、8月3日、八王子市民会館で開催されました。

この大会は、安全で水害のない水と緑豊かな潤いあふれる生活環境を創るために、河川改修の早期完遂と内水対策の早期実現を図ることを目的としています。

道路大会に参加

第18回東京都道路整備事業推進大会が、10月22日、日比谷公会堂で開催されました。

この大会は、東京の交通渋滞の緩和や安全で快適なまちづくりのために、道路、橋りよう、鉄道連続立体交差の整

今後の議会日程

現在予定されている議会日程は、次のとおりです。

●第4回定例会

11月27日～12月10日

＊ ＊ ＊

議会日程は変更されること

とがあります。

詳しくは、中野区議会ホームページ、または区議会事務局(電話3228-5585)へ。



だより」を発行しています。

郵送により無料でお届けします。利用をご希望の方は、区議会事務局(電話3228-5585)まで。

また、地域センター、区立図書館、障害者福祉会館などで貸し出しもしています。

視覚障害者の方へお知らせください。

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

贈らない

求めない

受け取らない

へのご意見、ご要望などは、区議会事務局まで

区議会
だより

〒164-8501 中野区中野4-8-1

電話 3228-5585 FAX 3228-5693

Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp